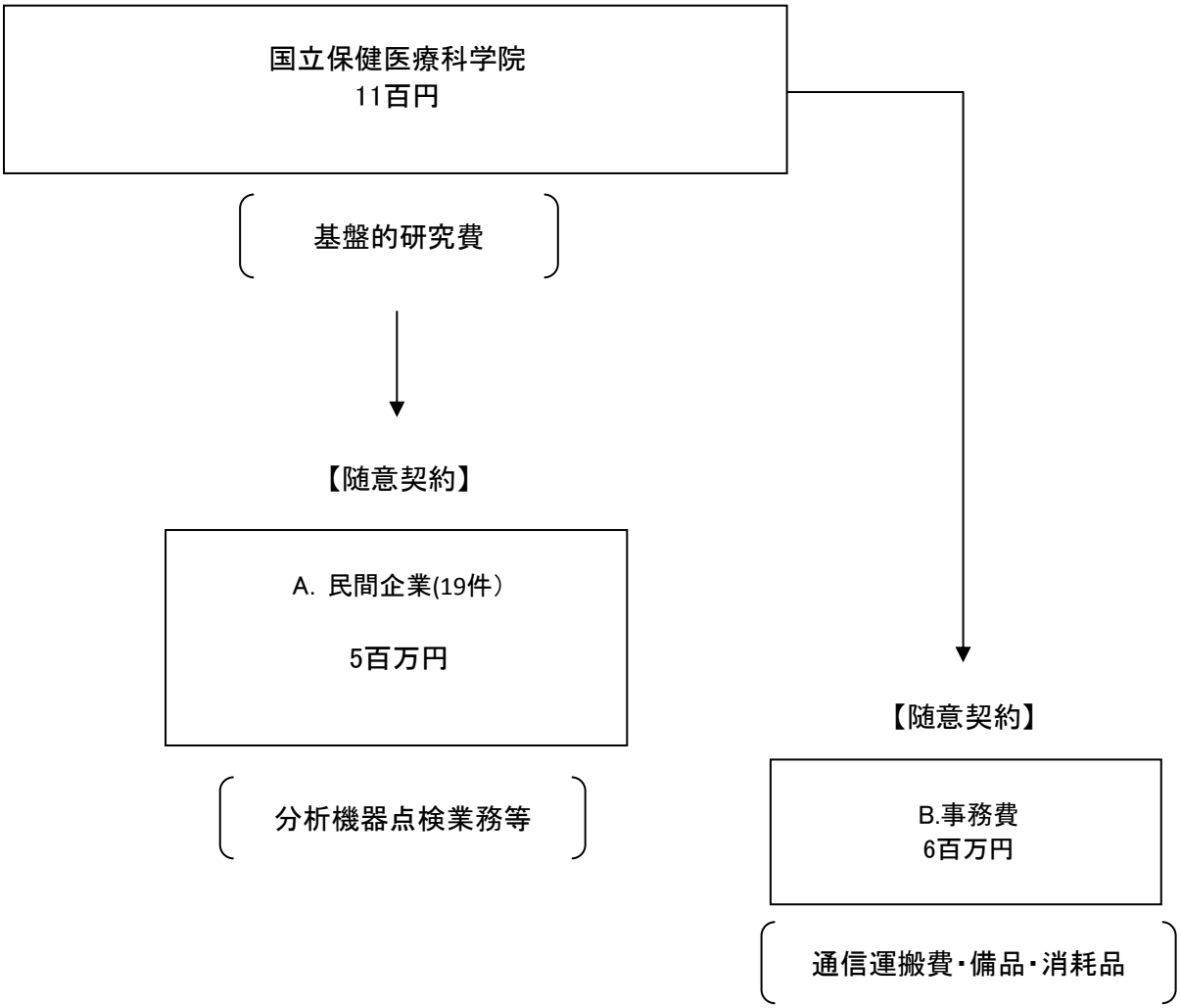


平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立保健医療科学院基盤的研究費		担当部局庁	国立保健医療科学院		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	総務部会計課		岡山 幸平		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保健医療福祉サービスに関する基盤的・基盤的研究を行い、国内外における諸分野の動向を踏まえた基礎資料や調査手法の策定などに寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	保健医療福祉サービスに関する ・健康危機管理研究のあり方に関する基盤的研究 ・少子・高齢化社会に対応した健康確保に関する基盤的研究 ・生活環境に関する安全・安心の確保に向けた基盤的研究 に関する基盤的・基盤的研究を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	20	11	11	11	11	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	20	11	11	11	11		
	執行額	18	10	11				
執行率(%)	90%	91%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	基礎研究であるため単年度での成果等を設定していない。			成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	研究課題数			活動実績 (当初見込み)	課題数	6 (6)	6 (6)	6 (6)
	1,825 (千円/課題1件)		算出根拠	10,953千円/6件=執行額(千円)/課題数(件)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	試験研究費	10.9	11.0	給与特例法影響額の割戻しに伴う増				
	計	10.9	11.0					

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	保健医療福祉サービスに関する基礎的・基盤的研究は国民の健康を守るために必要とされている事業であり、医療費等の軽減になるため国費の投入の必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	基礎的、基盤的研究であり、国で実施する必要がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	科学院の政策に基づく事業として位置づけられ、優先度の高いものとなっている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			×	100万円未満の役務のため少額随意契約とした。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>研究課題については、院内の研究委員会において研究内容の評価を行っており、研究の効果的・効率的な実施に努めている。今後も、基盤的研究事業に必要な経費執行を行いながら、更なる見直しを行い経費削減に努める。</p> <p>なお、発注などの契約手続については、入札や見積合わせにより競争性を確保する等により予算執行の効率化を図っている。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>本事業は、保健医療福祉サービスに関する基礎的・基盤的研究を行い、国内外における諸分野の動向を踏まえた基礎資料を得る等に必要な経費であるが、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0599	平成23年	0546	平成24年	0485



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.アジレント・テクノロジー株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	分析機器(GCMSシステム他)点検業務	1.45			
雑役務費	分析機器(高速液体クロマトグラフ他)修理業務	0.17			
計		1.62	計		0
B.とら屋事務(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	OA機器購入等	2.10			
消耗品費	事務用消耗品購入	0.18			
計		2.28	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アジレント・テクノロジー株式会社	分析機器(GC/MSD分析システム)点検業務	0.62	随意契約	
		分析機器(GCMSシステム)点検業務	0.54	随意契約	
		分析機器(LC分析システム)点検業務	0.29	随意契約	
		分析機器(高速液体クロマトグラフ他)修理業務	0.17	随意契約	
2	島津サイエンス東日本(株)埼玉支店	LC-20AD高圧GEシステム整備付点検作業	0.63	随意契約	
		電子顕微鏡点検業務	0.47	随意契約	
3	(株)池田理化	恒温恒湿室点検業務等	0.73	随意契約	
4	株式会社 新日本電波吸収体	電子スピン装置ノイズ対策作業	0.38	随意契約	
5	エイキット株式会社	Sr分析用前処理業務	0.19	随意契約	
6	株式会社 日立ハイテクフィールドイング 関越支店	分光光度計点検業務	0.18	随意契約	
7	(社)日本建築学会	論文印刷業務	0.14	随意契約	
8	エヌ・エイ・アイ(株)	英文校正	0.13	随意契約	
9	日立アロカメディカル株式会社	線源回収作業	0.13	随意契約	
10	ノップス株式会社	アンケート調査用紙印刷業務	0.11	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	とら屋事務(株)	OA機器購入	0.87	随意契約	
		無停電電源装置購入	0.79	随意契約	
		事務機器購入	0.44	随意契約	
		消耗品購入	0.18	随意契約	
2	堀内電機(株)	OA機器購入等	1.00	随意契約	
3	(株)イトーキ	什器購入	0.56	随意契約	
4	(株)竹宝商会	事務用消耗品購入等	0.47	随意契約	
5	株式会社USEN	光回線利用	0.43	随意契約	
6	美津野商事(株)	事務用消耗品購入等	0.24	随意契約	
7	レノバサイエンス(株)	分析用理化材購入	0.22	随意契約	
8	(株)西田文具	事務用消耗品購入等	0.19	随意契約	
9	(株)高長	分析用理化材購入	0.18	随意契約	
10	広友サービス(株)	事務用機器購入	0.10	随意契約	